

★ともに生きる★

★一緒に手遊びしよう!!★

音楽会に、ふれあいの里とグレイスフル箕輪の利用者さんをご招待。
ふれあいの里からは約 20 名、グレイスフル箕輪からは約 30 名の利用者さんが来校されました。
子供達がおじいちゃん、おばあちゃんの前に立って自己紹介した後は、手遊び歌「十五夜さんのもちつき」。
おじいちゃん、おばあちゃんと息を合わせてお餅つきをしました。



続いてグレイスフル箕輪さんの発表。
お揃いの赤いベレー帽をかぶって、いざステージへ。



歌の為に基礎体力つけて、発声練習してきました。
後ろまでちゃんと聞こえたかな。
3週間練習した成果が出たかしら。

上手につけたかな。

★お年寄りの気持ちを知ろう!!★

4年生12人と保護者の方で高齢者疑似体験をしました。
プレートの入ったサポーターをひじや膝につけて階段を登ったり、
水を飲んだり。耳栓をして音楽を聞いてみたり、視覚障がいゴーグルを装着して本を読んだり。色々体験してみました。

ひじやひざが曲がらないと大変だなあ。



《講師より》

高齢者になるとできなくなることもあるけれど、全てできなくなるわけではないし、人それぞれです。
困っている時に何を手伝ってあげると喜ばれるかなって考えてみてね。

【編集後記】

今回の新聞は、西山の美しい自然に囲まれた西小学校ならではの取り組みを中心に取り上げました。
西小では天然のスケートリンクでのスケートの授業も含め、地域の環境を活かした学習に多く取り組まれており、そのほとんどが地域の方々と共に行われておりました。
森林の機能や山を守る事の大切さ学ぶ山林作業、江戸中期から続く古田人形、どちらも代々引き継がれてきた地域の宝を守り次世代へ引き継ぐための活動です。このような活動の中から、地域への愛着や地域に対する誇りも育まれていくんだろうなと感じました。何十年後かはこの子供達が、地域の先生になっていたらいいなと思います。

福祉教育新聞



平成30年 7月 1日発行

発行：社会福祉法人箕輪町社会福祉協議会
地域ふれあいグループ

TEL：0265-79-4180

協力：箕輪町立箕輪西小学校

ふくしは 心の ぐらしの しあわせ



今回は、箕輪西小学校での
福祉教育、地域活動の
取り組みを紹介します。

《赤そばの里にて》～地域の魅力をお伝えします～

赤そばの花が見頃を迎える9月、学校近くの赤そばの里でガイド体験をしました。
案内役はお揃いの赤いバンダナをした5年生19人。
県内外から訪れた観光客に見どころ案内や説明をしたり、
売店では販売のお手伝いもしました。

やった！売れたよ。



《子どもたちより》

- ・わたしの説明を聞いて納得してくれたり、説明している時にうなずいてくれる人たちがいてすごくうれしかったです。沢山の方が赤そばの里に来て、赤そばを見てくれたのもうれしかったです。
- ・販売では呼び込みをしたり、声をかけたりしました。売れた時はすごくうれしかったし、楽しかったので、来年もまたしたいです。
- ・調べていない事やわからないことも聞かれてとまどってしまいました。来年はもう少し考えたり、調べたりしたほうがいいなと思いました。



地域の伝統を受け継ぐ 古田人形クラブ

12月6日 グレイスフル箕輪での上演



古田人形の公演が始まると聞き、40名あまりの利用者さんが会場に集まりました。演目は「人形芝居 傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」



《利用者さんより》

初めて見ましたが、話に引き込まれました。子供達のきれいな心を感じられ、心が洗われました。

《6年生より》

今日が最後の公演。いつも通り楽しくできました。中学へ行っても続けたいです。

古田人形クラブ

長野県選択無形民俗文化財に指定されている古田人形芝居。江戸中期から、上古田地区を中心に、風よけや豊作を祈る神への奉納として行われたと伝えられています。

箕輪西小学校の古田人形クラブは平成4年に発足。

29年度は4～6年生の21人が活動しました。

地域の古田人形芝居保存会の先生方の指導の元、伝統を受け継げるよう頑張っています。

学校教育目標
気づき 考え やり抜く 子どもを育てる
～ふるさとに学ぶ～



■地域の願い■

- ふるさとを愛する子の育成
- これからの地域の担い手育成
- 西小の伝統的行事の継続
- 安心・安全な楽しい学校

12月2日
町文化センターでの
定期公演



箕輪西小学校古田人形クラブ

200人のお客さんの前での上演。

緊張したけどうまくできました。

11月15日の授業参観日でも上演しました。

みどりの少年団

自然の豊かさを大切にする気風を受けて、昭和57年発足。上古田区が所有する山林で、毎年4年生が植樹や間伐等を体験しています。

講師は、地域の森林保護団体「みんなで支えるふるさとの森林づくり上古田団地推進協議会」と「西山会」の皆さんです。

年間を通しての森林と触れ合う活動を通じて緑を愛し、山を守る事の大切さを勉強しています。

地域の宝 西山を守る みどりの少年団

ふるさとの森林づくり賞
森林環境教育推進の部
長野県知事賞受賞

学校林活動や学校や地域での森林環境教育推進の活動において貢献のあった団体として、箕輪西小みどりの少年団と上古田西山会に贈られました。

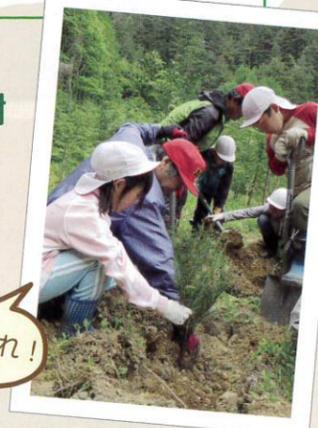
4月 なめこの菌うち



たくさんとれるかな。

5月 植樹

一本一本大切に植えました。



大きくなーれ!

11月

間伐材を使った本立て作り



11月

間伐、枝落とし

のこぎりを使って間伐にチャレンジ!



手がいたいなあ



講師の先生方に教わりながら頑張りました。みんな上手にできました。

《子どもたちより》

(なめこの菌うち)

・原木になめこの菌をうちました。難しいところもあったけど、楽しくできました。秋の収穫が楽しみです。

(間伐、枝落とし)

・ヒノキの木を切りました。木が倒れるまでみんなで交代して切りました。のこぎりもしっかり使えました。森に日光が入って来れるようになったので、よかったなあと思いました。

・木を切るのは楽しかったし、たおすのもうまくできました。帰りはいろいろな葉っぱや鳥の羽、へびやおもしろい虫も見れました。

・自分たちで植えた木に、けものに葉を食われない様にするための薬を塗りました。その後、自分達が切った木を切った物を、1こずつもらいました。いいにおいでした。